

11月15日（土） 令和7年度緑高セミナーを行いました。

本校卒業生の潮工房 代表 小西 潮さん（高35期）を講師にお迎えし、「喫茶去 ガラスの茶器でお点前（表千家）」というテーマで講演いただきました。

「喫茶去（きっさこ）」とは「さあ、お茶でも召し上がり」という意味で、お茶席を設け柔らかい雰囲気のなかで茶道とガラスが融合した世界に行き着くまでをお話いただきました。お茶席では、今回のために制作いただいたガラスのお茶碗を手にしながら、お話のなかで出てきた「お茶（茶道）は入り口が広くて、総合的な知識の集大成」、「器を目でも、手でも愛する」という世界を味わうことができました。また、本校をイメージした水差しと校章入りの蓋置をいただきました。

参加者の方々は終始、ガラスの美しさに魅了されていました。生徒の感想のなかに「作品をつくっていくと、どんどん自分の中が空っぽになっていくというお話が興味深かったです」という言葉がありました。



茶道部のお点前とともに講演開始



ガラスの茶器でお抹茶



茶道部とともにお茶をいただくポーズ



緑高を描いた水差しと校章入りの蓋置